

## 医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学病理病態診断学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2021年11月 福島県立医科大学医学部病理病態診断学講座 講座主任 橋本 優子

【研究課題名】 甲状腺びまん性大細胞型B細胞リンパ腫の遺伝子異常の検討

【研究期間】

2021年6月～2023年3月

【研究の意義・目的】

悪性リンパ腫は、血液細胞に由来するがんの1つで、白血球の1種であるリンパ球ががん化した病気です。悪性リンパ腫はリンパ節や消化管、肺、肝臓などの臓器に発生し、全身のいずれの場所にも病変が発生する可能性があります。悪性リンパ腫は、発生部位、がん細胞の形態や性質、病状の進み方など、いくつかの分類があります。がん細胞の形態や性質で分ける病理分類では、70種類以上に細かく分類されていますが、大きくB細胞性リンパ腫、T細胞性リンパ腫、ホジキンリンパ腫に分類されます。病状の進み方による病型分類では、低悪性度、中悪性度、高悪性度に分類されます。

びまん性大細胞型B細胞リンパ腫は、全リンパ腫の30-40%を占める最も多いリンパ腫です。病型分類では中悪性度に含まれます。同じびまん性大細胞型B細胞リンパ腫でも、発生部位の違い、遺伝子異常の違いなどによって、治療の効き方や再発のしやすさ(予後)が異なることが知られています。そのため、びまん性大細胞型B細胞リンパ腫の中で、特徴や予後を反映できるよう、さらに分類をすることが大きな研究課題となっています。近年は次世代シーケンシングという技術によって遺伝子を網羅的に解析し、遺伝子異常によって5つのグループに分ける分類が発表されています。

一方MALTリンパ腫は低悪性度のB細胞リンパ腫で、胃、肺、涙腺、甲状腺などの臓器に発生します。

甲状腺に発生する悪性リンパ腫は、MALTリンパ腫とびまん性大細胞型B細胞リンパ腫が多いとされます。MALTリンパ腫は、橋本甲状腺炎などの慢性炎症が原因となって発生することが分かっています。時に、MALTリンパ腫から二次性にびまん性大細胞型B細胞リンパ腫が発生することがあります。

本研究では、甲状腺のびまん性大細胞型B細胞リンパ腫の遺伝子異常やタンパク質の発現を調べ、それがどのようにがん細胞の形態や性質に影響するか、予後とどう関係するかを調べます。患者さんから得られた試料を用い、蛍光 in situ ハイブリダイゼーション法(FISH法)などで、遺伝子異常や染色体転座を検索します。そして、遺伝子異常・染色体転座と関連が予想されるたんぱく質を染め分ける免疫染色を行い、遺伝子異常・染色体転座とタンパク質の発現の関連性を検討します。

【研究の対象となる方】

2001年1月から2021年3月までに福島県立医科大学附属病院、福島県立医科大学会津医療センター附属病院で、甲状腺のびまん性大細胞型B細胞性リンパ腫、MALTリンパ腫と診断された患者さん

【研究の方法】

上記対象者の生検標本、組織切除標本、病理解剖標本、凍結材料を試料として使用させていただきます。

生検標本、組織切除標本、病理解剖標本についてはパラフィンブロックとして保存されておりますので、福島県立医科大学病理病態診断学講座内で薄切し、免疫染色、FISH

法、遺伝子解析を行います。また、凍結材料についてはクライオスタットを用いて凍結切片を作成し、免疫染色、FISH法、遺伝子解析を行います。

本研究に際しまして、患者様の既往歴や治療歴などの情報も使用いたしますが、匿名性は確保いたします。また、本研究によって患者様の診断・治療が変更になることはありません。

**【研究組織】**

研究責任者	病理病態診断学講座	教授	橋本 優子
研究分担者	病理病態診断学講座	助手	岡 佑香

**【他の機関等への試料等の提供について】**

提供はありません。

**【本研究に関する問い合わせ先】**

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学医学部病理病態診断学講座 担当 岡 佑香

電話:024-547-1165 FAX:024-548-4488

E-mail: y-oka@fmu.ac.jp

**【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】**

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学医学部病理病態診断学講座 担当 岡 佑香

電話:024-547-1165 FAX:024-548-4488

E-mail: y-oka@fmu.ac.jp